

日商簿記 3級



合格



寺尾芳樹 企画・執筆
佐伯マスオ イラスト

これ1冊



⑤ ネットスクール出版



答案用紙

第 1 問 (20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

答案用紙

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	108,220							
現金過不足	2,300							
当座預金	161,380							
受取手形	410,000							
売掛金	322,000							
売買目的有価証券	281,600							
繰越商品	302,400							
貸付金	276,000							
建物	2,000,000							
備品	300,000							
支払手形		366,400						
買掛金		243,200						
借入金		600,000						
貸倒引当金		13,500						
建物減価償却累計額		675,000						
備品減価償却累計額		162,000						
資本金		1,750,000						
売上		3,244,900						
受取手数料		40,700						
受取利息		4,300						
仕入	2,568,260							
給料	253,000							
通信費	12,240							
支払保険料	32,400							
広告宣伝費	58,500							
支払利息	11,700							
	7,100,000	7,100,000						
()								
有価証券評価()								
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
前受()								
未収()								
()保険料								
前払広告宣伝費								
未払利息								
当期純()								

第5問対策I

30



31 コマ

第5問対策

～まずはライトな問題で練習～

31コマでは軽めの問題で精算表の作成を練習してみましょう。4題ありますので、よければ拡大コピーして、実際に手を動かして書き込んでみてください。

問題1 精算表の作成①

次の精算表を完成させなさい。

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	55,000							
当座預金	180,000							
売掛金	100,000							
売買目的有価証券	45,000			3,000				
繰越商品	20,000		40,000	20,000				
建物	300,000							
買掛金		30,000						
貸倒引当金		2,000		1,000				
減価償却累計額		40,500		9,000				
資本金		600,000						
売上		277,500						
受取利息		10,000		2,500				
仕入	200,000		20,000	40,000				
給料	40,000							
支払家賃	20,000		5,000					
	960,000	960,000						
貸倒引当金繰入				1,000				
減価償却費				9,000				
有価証券評価損				3,000				
未収利息				2,500				
未払家賃				5,000				
当期純利益			80,500	80,500				

もう修正記入欄に数字は入っているから、右に流すだけだよ



今度は修正記入欄に書いてから
右へ流す問題ですね



問題2 精算表の作成②

次の決算整理仕訳にもとづき、精算表を完成させなさい。

【決算整理仕訳】

1. 売上原価の算定

商品の期末棚卸高は ¥ 5,000 である。売上原価は「仕入」の行で計算する。

(借) 仕 入 6,000 (貸) 繰 越 商 品 6,000
(借) 繰 越 商 品 5,000 (貸) 仕 入 5,000

2. 減価償却費の計上

建物について、減価償却費を ¥ 2,000 計上する。

(借) 減 価 償 却 費 2,000 (貸) 減価償却累計額 2,000

3. 費用の繰延べ

支払保険料のうち ¥ 1,500 は未経過分なので、繰り延べる処理を行う。

(借) 前 払 保 険 料 1,500 (貸) 支 払 保 険 料 1,500

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
：								
繰 越 商 品	6,000							
：								
減 価 償 却 累 計 額		8,000						
：								
仕 入	100,000							
：								
支 払 保 険 料	12,000							
：	××	××						
()								
()								

問題3 精算表の作成③

次の決算整理仕訳にもとづいて、答案用紙の精算表を完成させなさい。ただし、会計期間は×1年1月1日から×1年12月31日までの1年である。

【決算整理仕訳】

1. 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒れを見積もる。差額補充法によること。
2. 期末商品棚卸高 ￥28,000 なお、売上原価は「仕入」の行で計算する。
3. 建物について、定額法を用いて減価償却を行う。残存価額は取得原価の10%、耐用年数は30年とする。
4. 受取家賃は、所有する建物の一部賃貸によるもので、毎年同額を3月1日と9月1日に向こう半年分として受け取っている。

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	86,000							
当座預金	90,000							
売掛金	240,000							
繰越商品	30,000							
建物	400,000							
買掛金		51,200						
借入金		80,000						
貸倒引当金		2,800						
減価償却累計額		24,000						
資本金		500,000						
売上		300,000						
受取家賃		42,000						
仕入	153,000							
支払利息	1,000							
	1,000,000	1,000,000						
貸倒引当金()								
()								
()家賃								
当期純()								

問題4 精算表の推定

答案用紙の精算表の空欄に当てはまる語句または金額を記入し、精算表を完成しなさい。

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	86,000						86,000	
当座預金	90,000						90,000	
売掛金	240,000						240,000	
繰越商品	30,000		28,000					
建物	400,000						400,000	
買掛金		51,200						51,200
借入金		80,000						80,000
貸倒引当金		2,800						4,800
減価償却累計額		24,000						
資本金		500,000						500,000
売上		300,000				300,000		
受取家賃			6,000			36,000		
仕入	153,000			28,000				
支払利息	1,000				1,000			
貸倒引当金()								
減価償却費					12,000			
()家賃				6,000				
当期純()								



答案用紙

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	134,300							
現金過不足		700						
当座預金	120,000							
受取手形	50,000							
売掛金	120,000							
売買目的の有価証券	44,000							
仮払金	30,000							
繰越商品	30,000							
消耗品	5,200							
建物	900,000							
備品	200,000							
支払手形		54,300						
買掛金		123,200						
借入金		400,000						
貸倒引当金		1,000						
建物減価償却累計額		121,500						
備品減価償却累計額		60,000						
資本金		700,000						
売上		823,200						
受取手数料		16,100						
仕入	367,000							
給料	251,000							
旅費交通費	32,000							
支払保険料	5,400							
支払利息	11,100							
	2,300,000	2,300,000						
雑()								
貸倒引当金()								
有価証券評価()								
()								
減価償却費								
() 保険料								
() 利息								
当期純()								



34 コマ

第3問対策

～まずはライトな問題で練習～

34コマでは軽めの問題で試算表の作成を練習します。よければ拡大コピーして、実際に手を動かして書き込んでみてください。

問題1 合計残高試算表の作成

次のT勘定を集計して、**合計残高試算表**を完成させなさい。

現 金				売 上			
9/1	200	9/11	100			9/15	300
9/18	400	9/30	230			9/18	400
9/21	320						
売 掛 金				仕 入			
9/1	300	9/21	320	9/1	500	9/6	50
9/15	300						
買 掛 金				備 品			
9/6	50	9/1	200	9/4	200		
9/30	230	9/4	500	9/11	100		
資 本 金							
		9/1	500				

合計残高試算表

借方残高	借方合計	勘 定 科 目	貸方合計	貸方残高
		現 金		
		売 掛 金		
		備 品		
		買 掛 金		
		資 本 金		
		売 上		
		仕 入		

問題2 合計試算表の作成

次の資料から、10月末の合計試算表を作成しなさい。

(A) 平成×3年10月29日
の合計試算表

合計試算表
×3年10月29日

借方	勘定科目	貸方
11,000	現金	7,000
15,000	当座預金	8,500
12,000	受取手形	5,000
15,000	売掛金	6,000
3,000	支払手形	9,000
5,000	買掛金	13,000
	資本金	10,000
500	売上	14,000
10,500	仕入	500
1,000	支払保険料	
73,000		73,000

(B) ×3年10月30日および31
日の取引

30日

・A商店より商品¥1,100を掛けて仕入れた。

・かねてより売掛金のあったB商店から同店振出しの約束手形¥1,300を受け取った。

・C商店に対する買掛金を支払うため、同店あての約束手形¥700を振り出した。

31日

・B商店に商品¥2,400を掛けて売り上げた。

・今月分の保険料¥100を現金で支払った。

・支払手形の決済日到来により、当座預金口座から¥1,000引き落とされた。

合計試算表

×3年10月31日

借方	勘定科目	貸方
	現金	
	当座預金	
	受取手形	
	売掛金	
	支払手形	
	買掛金	
	資本金	
	売上	
	仕入	
	支払保険料	

35
コマ

第3問対策

～試算表の問題（本試験レベル）～

◎同じ取引が2回出てくる資料の与えられ方に注意◎

第3問

次の資料 (A) および (B) にもとづいて、答案用紙の残高試算表を作成しなさい。

(A). 残高試算表

残 高 試 算 表

×3年5月1日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
50,000	現 金	
65,000	当 座 預 金	
47,000	受 取 手 形	
52,000	売 掛 金	
	支 払 手 形	42,000
	買 掛 金	35,000
	資 本 金	100,000
	売 上	123,000
83,000	仕 入	
3,000	支 払 保 険 料	
300,000		300,000

資料 (B) の
与えられ方に
注意です!



資料 (B). 5月中の取引 (同種取引をまとめている)

1. 現金取引

(1) 収入 現金売上 ￥15,000

(2) 支出 現金仕入 ￥8,500

2. 売上取引 ￥15,000 (現金による売上)

3. 仕入取引 ￥8,500 (現金による仕入)

4. その他

保険料の支払 ￥1,200 (現金による支払)

(答案用紙)

残 高 試 算 表

×3年5月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
	当 座 預 金	
	受 取 手 形	
	売 掛 金	
	支 払 手 形	
	買 掛 金	
	資 本 金	
	売 上	
	仕 入	
	支 払 保 険 料	

3伝票制の確認問題

次の伝票はある取引にもとづいて作成されたものである。これらの伝票から取引を推定し、その仕訳をしなさい。ただし、3伝票制により起票している。

1.

入金伝票	
科目	金額
売掛金	50,000

2.

出金伝票	
科目	金額
買掛金	35,000

3.

振替伝票			
借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形	64,000	売上	64,000

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				



振替伝票チューのはホントに仕訳そのままなんだネ

楽でいいネ



取引を分解する方法(3伝票制)の問題

次の取引を入金伝票と振替伝票に記入しなさい。

商品 ¥ 30,000 を販売し、代金のうち ¥ 20,000 は現金で受け取り、残額は掛けとした。

なお、取引を現金売上と掛売上に分解して処理する方法によること。

入金伝票		振替伝票			
科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額

取引を擬制する方法(3伝票制)の問題

次の取引を入金伝票と振替伝票に記入しなさい。

商品 ¥ 30,000 を販売し、代金のうち ¥ 20,000 は現金で受け取り、残額は掛けとした。

なお、いったん全額を掛けによる売上取引として処理する方法によること。

入金伝票		振替伝票			
科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額



一部現金売上(5伝票制)の問題

当店は5伝票制により起票している。次の取引から、伝票を起票しなさい。

神田商店に商品 ¥ 250,000 を売り上げ、代金のうち ¥ 150,000 は現金で受け取り、残額は掛けとした。

売 上 伝 票	
科 目	金 額

入 金 伝 票	
科 目	金 額



一部現金仕入(5伝票制)の問題

次の伝票はある取引にもとづいて作成されたものである。これらの伝票からその取引の仕訳を行いなさい。ただし、5伝票制により起票している。

仕入伝票	
科目	金額
買掛金	90,000

出金伝票	
科目	金額
買掛金	30,000

借方科目	金額	貸方科目	金額



ちょっと難しめの過去問にチャレンジしてみましょう!



男みせる
トコでしょ

本試験問題 (第129回過去問・改題)

伝票会計制度には、入金伝票、出金伝票および振替伝票の3種類に分けて起票する3伝票制のほかに、さらに仕入伝票と売上伝票も用いる5伝票制がある。次に示す取引は、5伝票制にもとづいて起票されたものである。この取引を3伝票制で起票する場合、(1)取引を現金仕入と掛仕入とに分解して処理する方法および(2)いったん全額を掛けによる仕入取引として処理する方法の2つがある。それぞれについて、答案用紙における各伝票(略式)の空欄をうめなさい。

仕入伝票			
買掛金	¥	150,000	

出金伝票			
買掛金	¥	50,000	

(1) 取引を現金仕入と掛仕入とに分解して処理する方法

出金伝票		振替伝票			
科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額

(2) いったん全額を掛けによる仕入取引として処理する方法

出金伝票		振替伝票			
科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額



決算振替の確認問題

千葉商店（決算年1回、12月31日）は、当期の3月1日に、店舗として使用する目的で契約期間を3年とする建物の賃借契約（年額 ¥ 480,000）を結んだ。この契約で、家賃は3月1日と9月1日に、向こう半年分 ¥ 240,000 をそれぞれ現金で前払いすることとしている。よって、次の勘定記入の手順にもとづいて、答案用紙に示す当期の支払家賃勘定と前払家賃勘定の記入（転記および繰越記入）を行いなさい。

勘定記入の手順

1. 3月および9月に家賃支払いの仕訳を行い、支払家賃勘定に転記した（勘定への転記は、相手勘定科目及び金額の記入により行う。以下同様）。
2. 決算日に、家賃の当期未経過高 ¥ 80,000 を次期に繰り延べる決算整理仕訳を行い、各勘定に転記した。
3. 決算日に、支払家賃勘定の残高を損益勘定に振り替える決算振替仕訳を行い、支払家賃勘定に転記して、締め切った。
4. 決算日に、前払家賃勘定の残高を繰越記入し、前払家賃勘定を締め切った。

支 払 家 賃			
3/1 () ()	12/31 () ()		
9/1 () ()	〃 () ()		
()	()		
前 払 家 賃			
12/31 () ()	12/31 () ()		



引出金、資本金、損益の勘定記入の問題

富山商店(決算日は12月31日)は、資本の引出しに関する取引を資本金勘定と引出金勘定で記帳している。(資料)にもとづき、次の各勘定の(a)から(d)までの空欄に入る適切な語句または金額を答えなさい。なお、商品売買に関する記帳は三分法によっている。

(資料)引出金に関する期中の取引

3月10日 事業主に課せられる所得税の確定申告を行い、所得税額 ¥ 100,000 を店の現金で納付した。

4月28日 本年度の固定資産税 ¥ 50,000 を店の現金で納付した。ただし、納付額のうち40%は店主個人の家計負担分である。

10月20日 店主が私用のため、仕入原価 ¥ 10,000 の商品を自家消費した。

損		益	
12/31 仕入	1,750,000	12/31 売上	2,500,000
〃 給料	150,000	〃 受取利息	200,000
〃 租税公課	30,000		
〃 減価償却費	70,000		
〃 (a)	()		
	<u>2,700,000</u>		<u>2,700,000</u>

引 出 金			
3/10 現金	()	() (c)	()
() 現金	()		
() ()	(b)		
	<u>()</u>		<u>()</u>

資 本 金			
12/31 () (d)	()	1/1 前期繰越	1,000,000
〃 次期繰越	()	() ()	()
	<u>()</u>		<u>()</u>

(a)	(b)	(c)	(d)
-----	-----	-----	-----



本試験問題 (第126回過去問・改題)

大分商店の平成 24 年 11 月の取引は次のとおりである。これらにもとづいて、それぞれの日付の取引が、答案用紙に示したどの補助簿に記入されるか、答案用紙の解答欄に○印を付しなさい。

- 5日 島根商店から商品 ¥ 200,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 150,000 については同店から為替手形の引受けを求められたため、これを引き受け、残額は掛けとした。なお、引取運賃 ¥ 12,000 については現金で支払った。
- 12日 愛知商店に商品 ¥ 320,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 100,000 については、高知商店振出し、愛知商店受取の約束手形を裏書譲渡され、残額については掛けとした。なお、当店負担の発送費 ¥ 10,000 については小切手を振り出して支払った。
- 17日 12日に愛知商店に対して売り渡した商品の一部に汚損があったため、¥ 5,000 の値引きを求められ、これを承諾し、掛代金から差し引くこととした。
- 20日 山口商店にかねて注文しておいた商品 ¥ 150,000 を引き取り、代金については得意先広島商店を名宛人、山口商店を受取人とする為替手形(引受済)を振り出して支払った。
- 27日 愛知商店から掛代金の一部 ¥ 70,000 と注文を受けた商品の手付金 ¥ 30,000 が送金小切手で送られてきた。

帳簿 日付	現金 出納帳	当座預金 出納帳	商品 有高帳	売掛金元帳 (得意先元帳)	買掛金元帳 (仕入先元帳)	仕入帳	売上帳	受取手形 記入帳	支払手形 記入帳
11/5									

例題 次の帳簿の名称と、1月6日、1月11日、2月28日の仕訳を答えなさい。

() 記入帳

平成 ×2年	摘要	金額	手形 種類	手形 番号	支払人	振出人 または 裏書人	振出日	支払 期日	支払場所	てん末					
										月	日	摘要			
1	6	売掛金	20,000	為手	2	愛媛商店	徳島商店	1	6	2	28	松山銀行	2	28	当座預金 口座に入金
	11	売上	25,000	約手	4	香川商店	香川商店	1	11	3	31	高松銀行			

帳簿名：() 記入帳

例題 次の帳簿の名称と、11月4日、11月12日、11月30日の仕訳を答えなさい。

() 記入帳

平成 ×3年	摘要	金額	手形 種類	手形 番号	受取人	振出人	振出日	支払 期日	支払場所	てん末					
										月	日	摘要			
11	4	仕入	30,000	約手	34	東京商店	当 店	11	4	11	30	横浜銀行	11	30	当座預金口 座より引落
	12	買掛金	15,000	為手	10	埼玉商店	千葉商店	11	12	12	28	船橋銀行			

帳簿名：() 記入帳



例題 財務諸表の作成



貸借対照表

×3年12月31日

現金 ()	買掛金 ()
売掛金 ()	未払費用 ()
貸倒引当金 () ()	借入金 ()
売買目的有価証券 ()	資本金 ()
商品 ()	当期純利益 ()
建物 ()	
減価償却累計額 () ()	
()	()

損益計算書

×3年1月1日から×3年12月31日まで

売上原価 ()	売上高 ()
給料 ()	有価証券評価益 ()
貸倒引当金繰入 ()	
減価償却費 ()	
支払利息 ()	
固定資産売却損 ()	
当期純利益 ()	
()	()